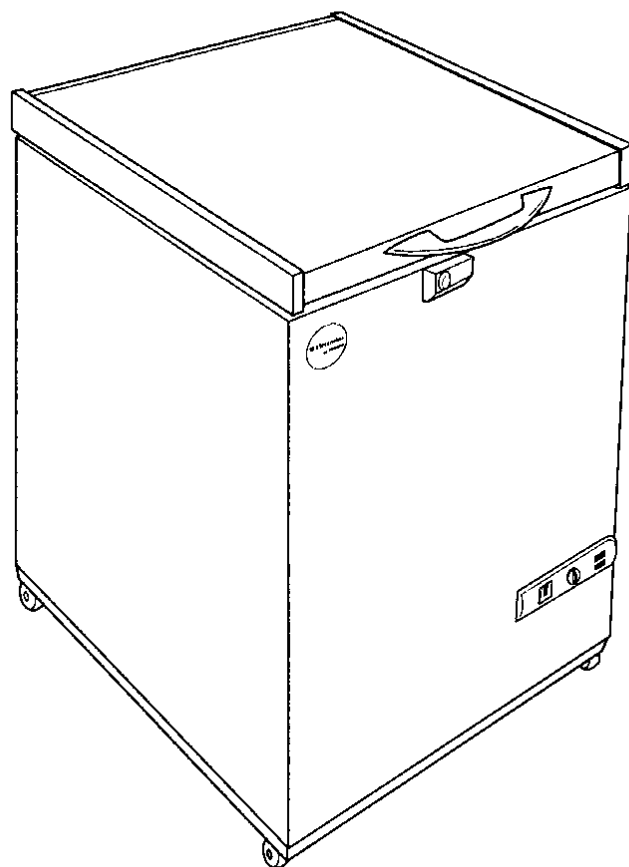
Electrolux

by TOSHIBA

Electrolux by TOSHIBA
はヨーロッパ最大の白物家電メーカーであるElectrolux社のデザインと機能を東芝が皆様にご提供するものです。

エレクトロラックス冷凍ストッカー
（家庭用）

取扱説明書

形　名

ECF-10A
ECF-15A
ECF-22A

- このたびは、エレクトロラックス冷凍ストッカーをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。
- この商品を、安全に正しく使用していただくために、お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元において ご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りください。

もくじ

安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 表示の意味は次のようになっています。

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。
* 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要しない、けが・やけど・感電などをさします。

図記号の例

感電注意

△は、注意(警告を含む)を示します。
具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。
左図の場合は、「感電注意」を示します。

分解禁止

⦸は、禁止(してはいけないこと)を示します。
具体的な禁止内容は、⦸の中や近くに絵や文章で示します。
左図の場合は、「分解禁止」を示します。

プラグを抜く

●は、強制(必ずすること)を示します。
具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。
左図の場合は、「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

⚠ 警告

引火しやすいエーテル・ベンジン・アルコール・薬品・LPガス(ガスライター用ボンベ)などは入れないこと

爆発する危険があります。

貯蔵禁止

分解・修理・改造をしないこと

火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買いあげの販売店または弊社のお客様相談窓口にご相談ください。

分解禁止

電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使用すること

他の器具と併用すると分岐のコンセント部が異常発熱して発火する恐れがあります。
また、交流100V以外を使用すると、感電・火災の原因になります。

100V・15A以上

差込みプラグをコンセントに差し込むときは、電源コードを上向きにしないこと

上向きにすると、コードに水が付着した場合、差込みプラグの刃の部分に水が流れ込んだり、コードに無理がかかりやすくなりますので、必ず下向きにしてください。
ショート・過熱し、感電・火災の恐れがあります。

禁　止

⚠警告

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないこと

また重い物を載せたり、挟み込んだりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

禁　止

差込プラグの刃および刃の取付面に、ほこりが付着している場合は、差込みプラグを抜き、からぶきすること

ほこりが付着したままでは、火災の原因になります。

プラグをふく

差込みプラグをストッカーの背面で押しつけないこと

プラグが傷つき火災の原因になります。

押しつけ禁止

製品の異常時や故障のときは、差込みプラグを抜き運転を中止すること

異常のまま運転を続けると、感電・火災の原因になります。

プラグを抜く

ストッカーには医薬品や学術試料は入れないこと

ストッカーでは、温度管理の厳しいものは保存できません。

貯蔵禁止

長期間ご使用にならない時は、食品を取り出し、必ず差込みプラグをコンセントから抜くこと

停電のときに食品が腐敗したり万一故障したときに漏電火災の原因になります。

プラグを抜く

差込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜くこと
また、ぬれた手で抜き差ししないこと

感電やショートして発火することがあります。

プラグを持って抜く

庫内灯を交換するときは、必ず差込みプラグを抜いてから行なうこと

抜かずに作業すると感電することがあります。

プラグを抜く

お手入れの際は、必ず差込みプラグをコンセントから抜くこと
また、ぬれた手で抜き差ししないこと

感電や、けがをすることがあります。

プラグを抜く

湿気の多い所や、水のかかる所への据えつけは避けること

絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。

水気禁止

⚠警告

本体や庫内に水をかけないこと

電源絶縁が低下し、感電や火災の原因になります。

水かけ禁止

電源コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないこと

火災・感電の原因になります。

プラグを抜く

上に水を入れた容器(醤油など)を置かないこと

こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電火災の原因になります。

禁　止

アース(接地)をすること

故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
アース工事は必ず販売店にご相談ください。

7ページ

アースを接続する

上に物を置かないこと

ドアの開閉で落下して、けがをすることがあります。

禁　止

都市ガスなどのガス漏れがあったときには、ストッカーやコンセントには手を触れず、窓を開けて換気をすること

引火爆発し、火災や、やけどの原因になります。

換気する

ストッカーを廃棄処分するときはドアパッキンをはずすこと

幼児が閉じ込められ事故の原因になります。

パッキンをはずす

可燃性スプレー(ヘアースプレー・スプレー式殺虫剤など)を近くで使わないこと

引火して火災の原因になります。

使用禁止

ストッカーの故障により、いやな臭いや変色して腐敗した食品は捨てること

腐敗した食品を食べると、体に害を与える恐れがあります。

腐敗食品を捨てる

バスケットの上面より高く食品を積み上げないこと

ドアが確実に閉まらなくなったり、庫内灯が割れ、けがや、感電の恐れがあります。

禁　止

⚠注意

床がじょうぶで水平なところに据えつけること

不安定な所に据えつけますと、ドアの開閉などでストッカーが転倒してけがをする恐れがあります。

水平に据えつける

冷却器部分や食品・容器(金属製)には、ぬれた手で触れないこと

低温のため凍傷の原因になります。

接触禁止

運搬するときは、手袋を着用してストッカーの下部を持ち、2人以上で運ぶこと

素手で持ったり、下部以外を持つと、手がすべって、けがをする恐れがあります。

下部を持つ

ビン類をいれないこと

中身が凍って割れ、けがをする原因になります。

貯蔵禁止

ストッカーを、背面の壁に押し当てて使用しないこと

壁などに当たっていると、ドアのヒンジで壁材にキズをつける恐れがあります。

押し当て禁止

ドアを閉めるときは、取っ手を持って閉めること

取っ手を持たずにドアを閉めると、指をはさんでけがをする恐れがあります。

取っ手を持つ

傷付きやすい床の上では、ストッカー下部のキャスター(車輪)は使用しないこと

キャスター(車輪)により床材に傷を付ける恐れがあります。

使用禁止

ストッカー底面には、手を足をいれないこと

ストッカー底面には鉄板などがあり、けがをする恐れがあります。

接触禁止

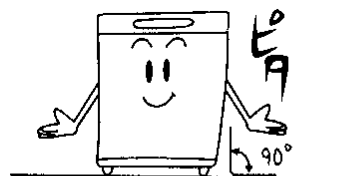
据えつけ

⚠警告	
	差込みプラグをストッカーの背面で押しつけないこと プラグが傷つき過熱発火の恐れがあります。
	アース(接地)をすること 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アース工事は必ず販売店にご相談ください。

⚠注意	
	床が丈夫で、水平な所に据えつけること 不安定な所に据えつけますと、ドアの開閉などでストッカーが転倒して、けがをする恐れがあります。
	湿気の多い所や、水のかかる所への据えつけは避けること 絶縁が悪くなり漏電の原因になります。
	傷付きやすい床の上では、ストッカー下部のキャスター(車輪)は使用しないこと キャスター(車輪)により床材に傷を付ける恐れがあります。

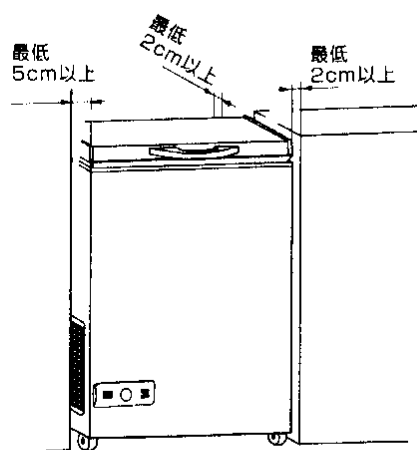
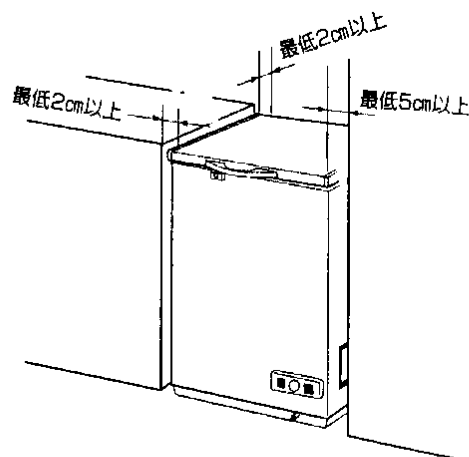
次の注意事項にしたがって正しく据え付けてください。

1 床がじょうぶで水平な所

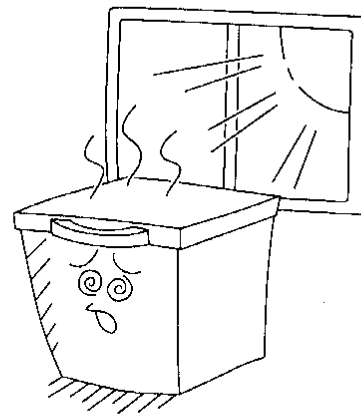
不安定な所に据えつけますと、ドアの開閉などでストッカーが転倒してけがをする恐れがあります。

2 じゅうたん・たたみなどの上にすえ付けるとき

本体下部全面にじょうぶな板を敷いてください。
じゅうたん・たたみなどが、冷凍庫に触れると熱で変色することがあります。

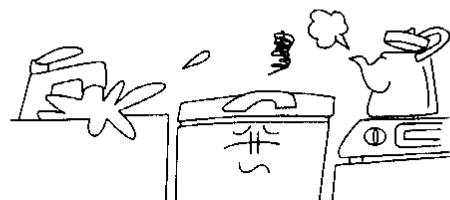
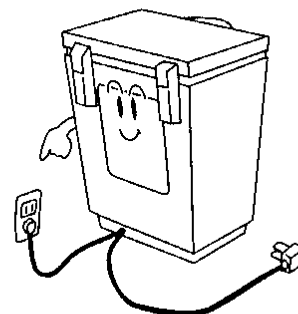
3 周囲にすき間をあけて

放熱のため、設置の際は、下図の寸法をあけて設置してください。
据え付け後のサービスの際最低限必要なスペースです。
機種によってスペースが違いますので、図で確認してください。

ECF-10A

ECF-15A
22A

4 熱気、湿気の少ない所

1．日光や、熱気のある所では冷えが悪くなり、電気のむだ使いになります。
2．湿気の多い所や、水がかかる所への据え付けは、さびや故障の原因になります。

5 必ずアースを・・・

1．次の場所での据え付けは、必ずアースを使用してください。
①土間などの地面またはコンクリートの床面。
②洗い場など、水のかかるおそれのある場所。
③地下室など、湿気のある場所。
④その他、湿気、水気のある場所。

アース工事は、法令により電気工事士による第3種設置工事（100Ω以下）が必要です。お買いあげの販売店または、電気工事店にご相談ください。

2．アース線の接続
1 本体背面の電源コード出口よりアース線が出ています。
2 コンセントのアース端子にアース線を接続してください。

⚠警告

接続してはいけない所
- 水道管
- ガス管…（引火の危険があります）
- 電話線のアースや避雷針…（落雷のとき大きな電流が流れて危険です）

3．漏電しゃ断器について
食堂の洗い場など、水気の多い所にすえ付ける場合は、アースのほか漏電しゃ断器を設置することが義務づけられいますので、お買いあげの販売店にご相談ください

お使い始めに

最初はプラスチックのにおいがしますが
冷えると消えます

⚠注意	1. 使用前によごれをふきとってください。(「お手入れ(12ページ)参照」) 2. 電源プラグをコンセント(交流100V)に差し込みます。 3. 冷凍庫の温度調節つまみをセットします。 4. 2～3時間運転し、庫内がよく冷えてから食品を入れます。

各部のなまえとはたらき

⚠注意	**冷却器部分や食品・容器(金属製)には、ぬれた手で触れないこと** 低温のため凍傷になる恐れがあります。	**ビン類を入れないこと** 中身が凍って割れ、けがをすることがあります。

この冷凍ストッカーは凍結した食品を保存するものです。
凍結していない食品を入れると、他の食品が溶けることがあります。

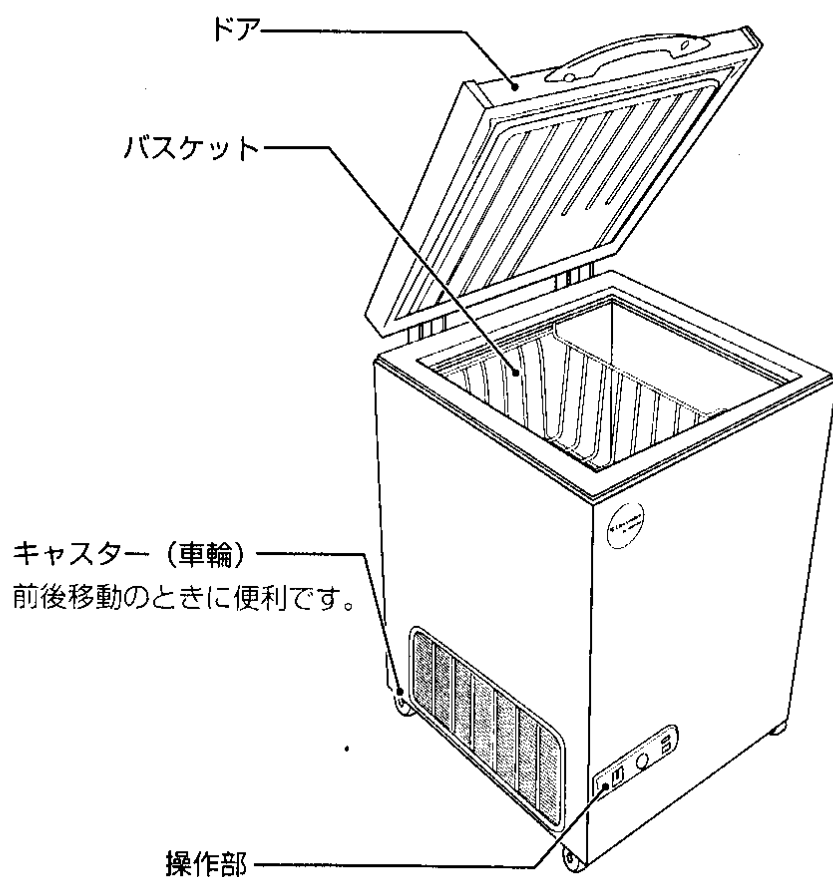
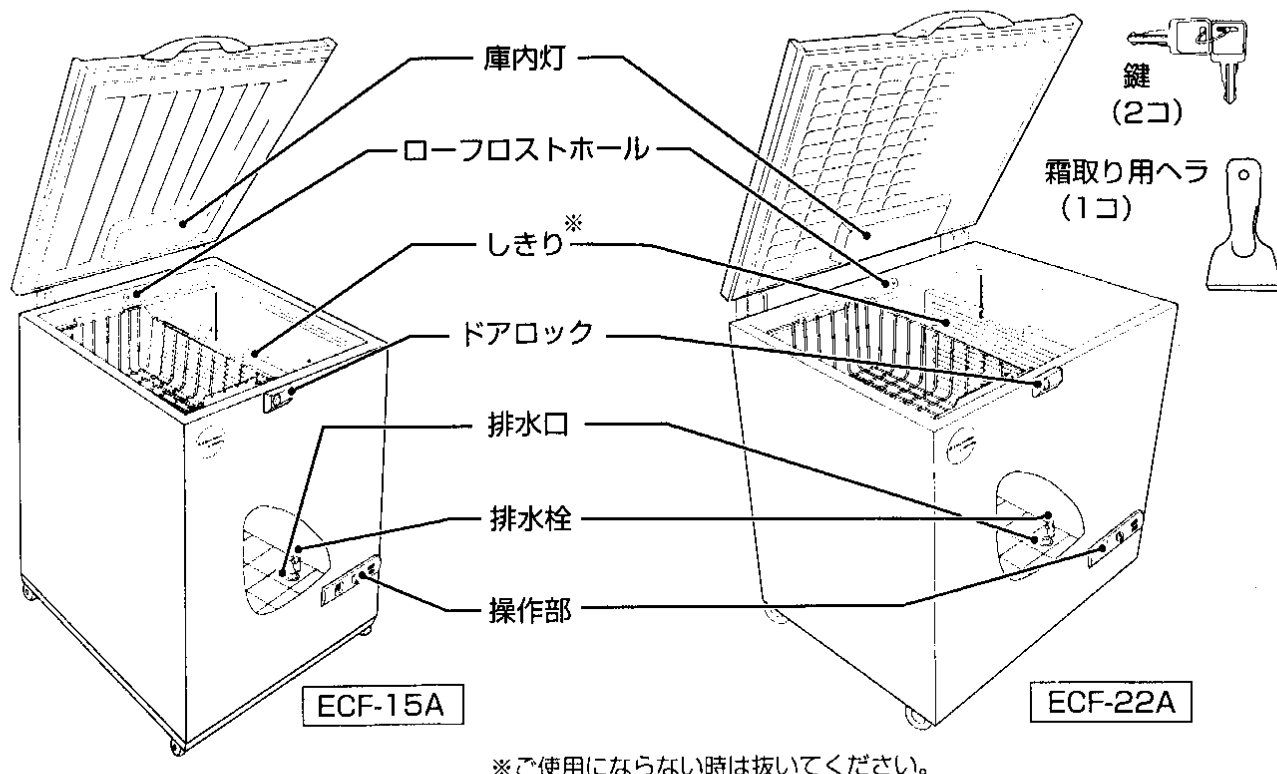
庫内灯
ローフロストホール
しきり※
ドアロック
排水口
排水栓
操作部

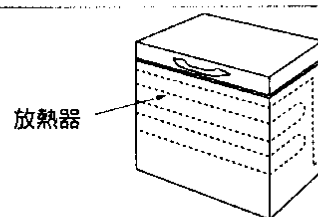
ECF-15A

ECF-22A

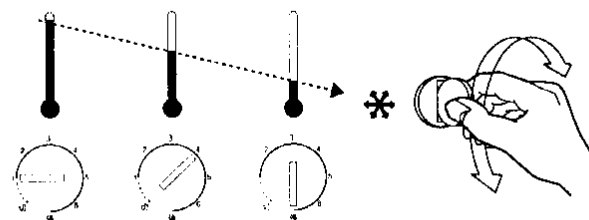
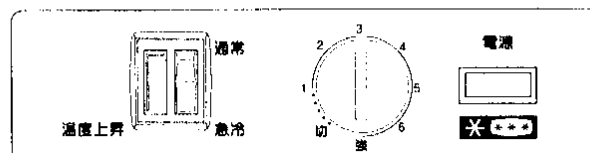
鍵
(2コ)

霜取り用ヘラ
(1コ)

※ご使用にならない時は抜いてください。

ストッカーの周囲が熱くなる

ストッカーの周囲に放熱器を内蔵して、ストッカーの周囲に露が付くのを防止しています。
お使いはじめや周囲温度が高いときには、特に熱く感じられますが、庫内の食品には影響ありません。

操作のしかた

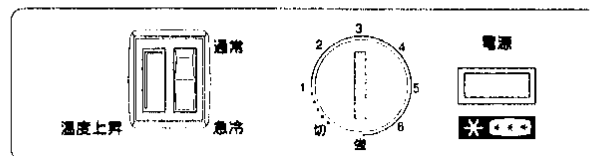
1. 温度調節

- 温度調節つまみで庫内の温度調節、および電源の「入」「切」を行います。
  - 切：電源「切」
  - 1：あまり冷やす必要がないとき
  - 強：冷凍室を強く冷やすとき
    （通常使用の場合は1と強の間でお使いください。）

(コインなどを使って回します。)

⚠ ご注意

- はじめてドアを開いたときに、プラスチックなどのにおいがすることがありますが、庫内が冷えるとともに消えますので、そのままお使いください。
- 温度調節つまみが「切」の状態では、急冷の操作を行ってもコンプレッサーは作動しません。使用する時は常に温度調節つまみをお好みの位置に合わせてください。
- 霜取りの時や冷凍庫をしばらく使用しない時だけ「切」にします。

2.急冷

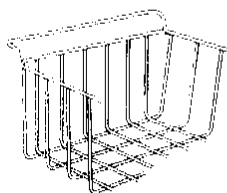
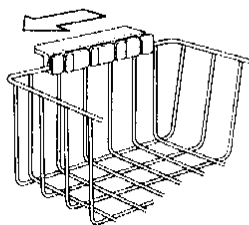
- 急冷を行う時は、急冷ボタンを押してください。
  急冷ランプが点灯します。
- 使用後は、必ず急冷ボタンをもう一度押し、
  オレンジのランプが消えていることを確認して
  ください。

⚠ご注意

- 急冷で長い間ご使用されますと圧縮機の寿命を縮めます。使用後は必ず急冷ボタンを戻してください。
- 急冷は48時間以上連続して使用しないでください。

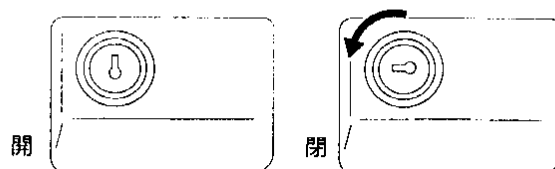
3.温度上昇ランプ

- お使いはじめや霜取り時など、庫内温度が高いときにランプが点灯します。
- また暖かい食品を多量に入れたり、ひんぱんにドアを開閉しますと点灯することがあります。このような場合は、ドアの開閉をひかえるなど、ご使用上の注意をしてください。

バスケットの使い方

- バスケットには冷凍した食品を入れて使ってください。
- バスケットにはハンドルがついています。内側にハンドルを倒すとバスケットは冷凍室内にすっぽり収まります。ハンドルを外側に出して、音がカチッとするまで押し入れてください。(ECF-15A、22Aのみ)
  ドア枠に引っ掛けてご使用になれます。
- ハンドルは左右にずらすと動きます。

(ECF-10A)　　　(ECF-15A,ECF-22A)

かぎの使い方(ECF-15A・ECF-22Aのみ)

- 反時計回りに回しますと鍵がかかります。(右図参照)
- かぎは大切に保管してください。

食品の上手な保存

冷凍のコツ

食べかた、使いかたの工夫をし、いろいろな食品に応用しましょう。冷凍後も味、香り、水分、栄養などが徐々に変化します。1～3カ月を目安に、早く使ってください。

1 新鮮な材料を使う。

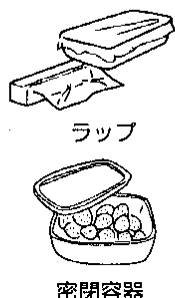
2 加熱したり、下味をつける。

食品の味が変わりにくくなります。

3 密封する。

ラップや密閉容器に入れます。食品の乾燥を防ぎ風味が長持ちします。

4 熱いものはよくさます。

ラップ
密閉容器

5 日付を入れる。

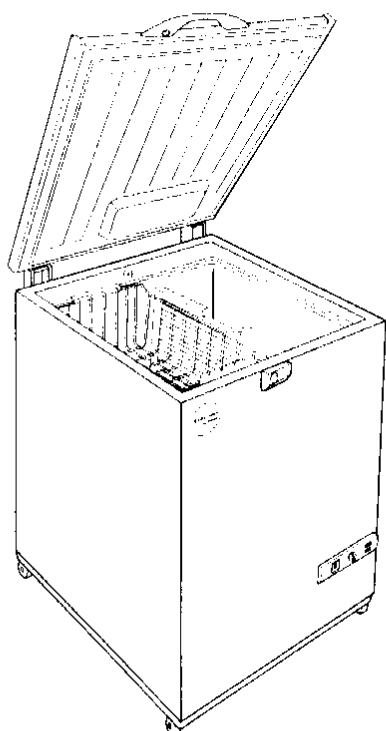
保存期間がわかって便利です。

6 薄く、小さく、小分けする。

速く凍るので味おちが少なくなります。

7 冷凍中はドアを開けない。

8 再フリージングをしない。

冷凍のしかた

1 急冷ボタンを押します。オレンジのランプが点灯します。

2 食品を庫内に入れ、冷凍します。

3 冷凍終了後、急冷ボタンを必ずもう一度押し、オレンジのランプが消えたことを確認します。

上手な冷凍方法

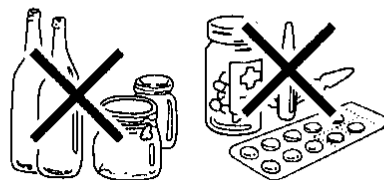
●ホームフリージングを行う時は、事前に急冷モードにして庫内を十分に冷やしておきます。

解凍して食べるときは

解凍はしすぎないこと。生のまま冷凍したものは、完全に溶かすとドリップが多くなり、うまみや栄養分が逃げるので、半解凍で止めましょう。電子レンジで解凍する場合はとくに慎重に。

⚠ご注意

庫内温度は周囲温度や内容物により多少変化します。

- びん類は中身が凍って割れる場合がありますので保存しないでください。
- この冷凍庫で温度管理の厳しい医薬品等の保存はできません。

霜取りのしかた

霜がつきすぎますと、冷えにくくなるばかりでなく
電気代のムダになります。

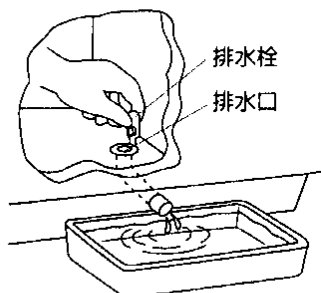
この冷凍庫は通常の冷凍ストッカーより霜の付きにくいローフロストタイプですが、冷却器表面に付着した霜が約10～15㎝になったときを目安に霜取りをしてください。

1 まず、温度調節つまみを「切」に合わせます。

2 食品をとり出し新聞紙等で包み、出来るだけ温度の低い所に置きます。

3 冷凍室内の前面下部にある排水栓をはずし、霜取り排水口の下に容器を置き、霜取りの水を受けます。ドアは半開きにしておきます。

ECF-15A、22Aのみ

ECF-10Aは排水栓がありませんので、霜取り水を布でふき取ってください。

4 氷結部分は一定時間たってゆるくなってから霜取りスクレーバーで取り除きます。

5 霜取りが終わったら
①庫内の水滴を布でふき取ってください。
②排水栓を確実に取りつけてください。
③温度調節つまみを元に戻し、2～3時間たって庫内が冷えてから食品を入れてください。

⚠ご注意

ナイフや金属製の道具を使っての霜や氷のはぎとりは行わないでください。冷却器を損傷し、故障の原因になります。又、この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

お手入れ

霜取り作業後、電源を入れる前にお掃除することをおすすめします。
普段は、からぶきしてください。
1年に2回程度、付属品をはずして水洗いしてください。

⚠警告		
	お手入れの際は、必ず差込みプラグをコンセントから抜く **また、ぬれた手で抜き差ししない** 感電や、けがをすることがあります。	**本体や庫内に水をかけない** 電気絶縁が低下し、感電や火災の恐れがあります。
	電源コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 感電や、ショートして発火することがあります。	**差込みプラグの刃および刃の取付面に、ほこりが付着している場合は、差込みプラグを抜き、からぶきする** ほこりが付着したままでは火災の恐れがあります。

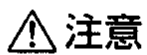
お手入れの手順

1 布にぬるま湯を含ませてふいてください。

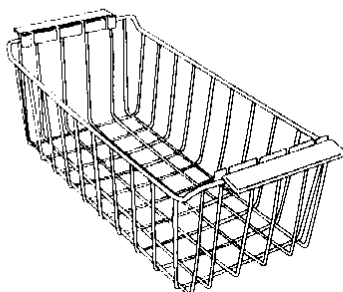
2 ぬるま湯では、どうしても汚れが落ちない場合は、台所用洗剤を必ずうすめて汚れをふき取ってください。なお、洗剤のうすめかたは、その注意書に従ってください。洗剤使用後は、必ず水を含ませた布で洗剤をふき取り、さらにからぶきしてください。

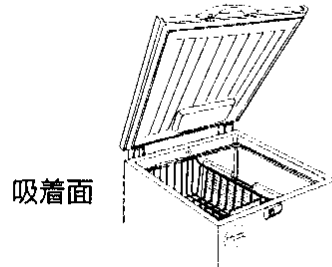
お手入れ後の点検

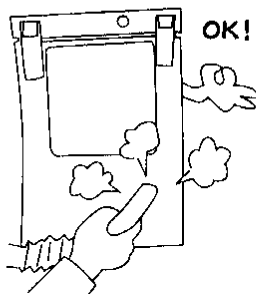
感電や火災などの発生を防ぐため、次の点検をしてください。

- 差込みプラグに、異常な発熱などがありませんか？
- 差込みプラグを、コンセントにしっかり差し込みましたか？
- もしご不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠注意	ストッカー底面には手や足を入れない	背面の機械室内部には手を触れない
	ストッカー底面には鉄板などがあり、けがをする恐れがあります。	圧縮機などが高温のため、やけどやけがの恐れがあります。

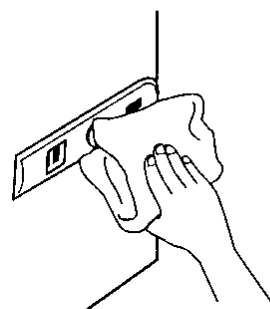
水洗いする部品

バスケット
霜取り用ヘラ

水ぶきする所

ドアパッキンと本体側の吸着面

吸着面

ホコリを取る所

OK!

掃除機などでホコリを吸い取ってください。

からぶきする所

柔らかい布でからぶきする。

お願い

●台所用洗剤は必ずその注意書に従って、うすめて使用してください。

原液を使用しますと、プラスチックが割れることがあります。

●食用油がついたときは、すぐにふきとってください。

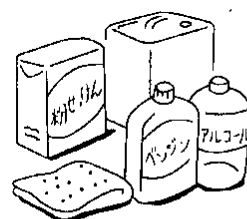
プラスチックが割れることがあります。

●ドア面が汚れたときは、早めにお手入れしてください。

汚れがとれにくくなります。

次のものは使わないでください

（塗装面や部品を傷めます）

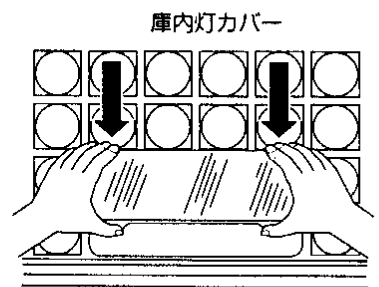
- みがき粉、粉セッケン、アルコール（エタノール・メチルアルコールなど）、ベンジン、シンナー、酸、アルカリ、ワックス、石油、熱湯、たわしなど。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

こんなときには

庫内灯を交換するとき

⚠ 警告

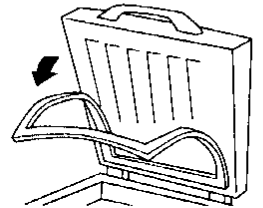
必ず差込みプラグを抜く
抜かずに作業すると感電することがあります。

1 庫内灯カバーの取りはずしは、側面を押さえながら引っぱりますと簡単にはずれます。

2 庫内灯はお買い上げの販売店より定格100ボルト15ワットのストッカー用庫内灯をお求めになり交換してください。

冷凍ストッカーを廃棄処分するとき

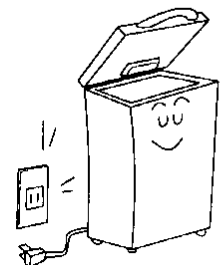
⚠ 警告

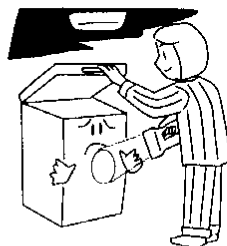
必ずドアパッキンをはずす
幼児が閉じ込められると危険です。

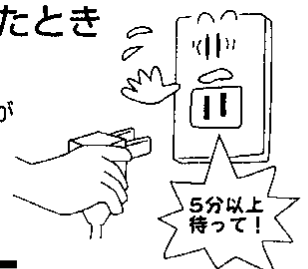
● 幼児が遊ぶ場所に、放置しないでください。

長期間使わないとき

⚠ 警告

差込みプラグを抜く
停電のときに食品が腐敗したり、万一故障したときに漏電火災の原因になります。

庫内を掃除し、2～3日間ドアを開けて乾燥させてください。（かびやにおいを防ぐため）

停電した！

● ドアの開閉をできるだけ少なくしてください。
● 新たな食品の貯蔵はさけてください。（庫内の温度が高くなる）

差込みプラグを抜いたとき

● 差込みプラグを抜いたあと、すぐ差込むと圧縮機に無理がかかります。

修理サービスを依頼される前に

故障かな？と思ったら、次のことをお調べになってからお買い上げの販売店にご相談ください。

ストッカーの状況		ここを確認してください	対処の方法
全く冷えない	緑のランプが消えているとき	差込みプラグが抜けていませんか？	差込みプラグを確認してください
		ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか？	ご家庭のヒューズやブレーカーを確認してください
		停電ではありませんか？	冷気が逃げないようにドアは開けないでください
		温度調節が「切」になっていませんか？	温度調節を1～強の間でご使用ください
よく冷えない	緑と赤のランプがついているとき	食品を詰めすぎてはいませんか？	安全に冷えるまで数時間お待ちください
		ドアは確実に閉まっていますか？	安全に冷えるまで数時間お待ちください
	緑のランプがつき、赤のランプがつかないとき	温度調節ダイヤルが「弱」側になっていませんか？	ダイヤルを、「強」側にセットしてください ⇒9ページ参照
		霜や氷がたくさんついてませんか？	霜取りをしてください ⇒12ページ参照

修理サービスを依頼される前に(つづき)

ストッカーの状況		ここを確認してください	対処の方法
冷えすぎるとき	オレンジのランプがついているとき	急冷スイッチが入っていませんか?	急冷スイッチを解除してください ⇒10ページ参照
	オレンジのランプがつかないとき	温度調節ダイヤルが「強」側になっていませんか?	ダイヤルを「弱」側にセットしてください ⇒9ページ参照
霜がつき過ぎる		食品を詰めすぎてはいませんか?	食品を詰め直して、ドアが確実に閉まっているか確認してください
		水気の多い食品を入れていませんか?	食品をポリ袋などで包んでください
音がうるさい		床はしっかりしていますか?	床の強度を確認し、板などで水平を保つようにしてください ⇒6ページ参照
		後側が壁などにあたったり、周囲にお盆や容器などが落ちていませんか?	設置スペースを確認してください ⇒6ページ参照
ストッカーの外側に霜がつく		梅雨どき、または特に湿度が高い場所に設置していませんか?	コップに冷水を入れたとき、周りに水滴がつくのと同じで異常ではありません。露がついたときは乾いた布でふきとってください
水が流れるような音がする		ストッカーの運転停止後の水の流れるような音ではありませんか?	冷却のための液が流れる音で、異常ではありません
ドアが開けにくい		ドアを閉めた直後に、すぐドアを開けようとしていませんか?	ドア開閉後、庫内に入った空気が急に冷やされて、庫内の圧力が一時的に庫外より低くなるためで異常ではありません

仕様

項目 \ 形名		ECF-10A	ECF-15A	ECF-22A
定格内容積(リットル)		102	143	215
外形寸法(ミリ)	幅	550	595	795
	奥行(ハンドル除く)	550	665	665
	高さ	855	868	868
定格電圧(V)		100		
電動機の定格消費電力(W)		120/50Hz 110/60Hz	125/50Hz 115/60Hz	125/50Hz 135/60Hz
定格周波数		50/60Hz共用		
消費電力量・平均1年あたり		430KWH/50Hz 420KWH/60Hz	480KWH/50Hz 470KWH/60Hz	680KWH/50Hz 650KWH/60Hz
製品質量		33	35	39
電源コード(有効長さ)(メートル)		1.4		

付属品:バスケット、鍵(ECF-15A、ECF-22Aのみ)2個、霜取り用ヘラ1個

消費電力量の測定基準はJIS C9801による。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は
お買いあげの販売店にご相談ください。

ご転居あるいは、ご贈答品などで 販売店に修理のご相談ができない場合 **東芝家電修理ご相談センター** フリーダイヤル 0120-1048-41	新製品などの商品選び、 お取り扱い・お手入れ方法などのご相談 **東芝家電ご相談センター** フリーダイヤル 0120-1048-86 携帯電話・PHSからのご利用は 03-3426-1048 FAX 03-3425-2101（365日・8:00～20:00受付）

365日・24時間受付

※電話受付：365日・24時間受付
※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間は、お買いあげ日から1年間です。**
  ただし、冷凍サイクル（圧縮機・凝縮器・冷却器）については2年間です。

補修用性能部品の保有期間

- 冷凍ストッカーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

14、15ページにしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず差込みプラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。また、食品の補償等製品修理以外の責はご容赦ください。

■保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合は

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■ご連絡いただきたい内容

技術料	エレクトロラックス冷凍ストッカー
形名	
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買い上げの販売店名を記入されておくと便利です。 TEL

愛情点検

●長年ご使用の冷凍ストッカーの点検を！

このような症状はありませんか。	● 電源コード、プラグが異常に熱い。 ● 電源コードに深いキズや変形がある。 ● 焦げくさい臭いがする。 ● ストッカー床面にいつも水が溜まっている。 ● ビリビリと電気を感じる。 ● その他の異常や故障がある。	ご使用中止	故障や事故防止のため、差込みプラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

株式会社 **東芝**
家電機器社　HAクリエーション部
〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1（東芝ビルディング）